

みんなで考えよう生活困窮

～生きにくさを抱える人々の視点と支援者の視点～

2024年 3月17日(日)
13:00～16:00

オンライン



参加
無料



Matsuoka Yoshinobu

松岡 是伸 氏

北星学園大学
社会福祉学部社会福祉学科 准教授

「生活困窮する人々の多様な生と生活困窮支援
-生活保護・生活困窮者自立支援・スティグマ- (仮)」

生活困窮者自立支援法が制定されてから10年、急激な少子高齢化、物価高騰、感染症拡大など、わたしたちを取り巻く状況はますます複雑化しています。この間、地域共生社会という理念が打ち出され、重層的支援体制整備事業、孤独・孤立対策、自殺対策、ヤングケアラー支援が導入され、子ども家庭庁が設立される等、様々な動きがありました。

自分の住む町はどう変わるのか、不安を抱えつつ、今何ができるか新たな政策や制度をどう活用できるか、思い悩んでいる人も多いと思います。本研修においては、あらゆる人々の人権と尊厳を擁護する立場から、差別や社会的孤立といった現実に生じる課題と向き合い、みんなで生活困窮について考え、日々の実践へ展開していくことを目的に開催します。

対 象

会員及び関心のあるすべての方

定 員

なし

申込み



QRコードを読み取り
お申し込みください

締切 3/11

Sawatari Hiroko

佐渡 洋子 氏

北海道生活困窮者支援ネットワーク
【どうねっと】事務局長
一般社団法人 北海道ねっとわーく理事



「生活困窮者支援における支援者支援～どうねっとが出来るまで～」